

調査の進め方

調べる林を選ぶ

調査は2001年春（3月）からスタートし、2001年の夏（8月）までの半年間、必ず同じ林で行っていただきます。ですから、調べる林は、住んでいる場所や学校、勤め先の近く、よく出かける場所など、その期間に何回も調査に出かけられるような場所がよいでしょう。どんな林を選べよいか、詳しくは6ページをご覧ください。

「秋冬調査」から参加しているみなさんは、引き続き同じ林で調査を進めてください。

何を調べるの？

春夏調査では

春から夏にかけては、多くの植物が花を咲かせ、虫たちが活発に活動します。あなたの調べる林では、どんな花や虫が見つかるか、

いくつかのテーマで調べていきます。

春に調べる「タンポポ」は、その林のまわりの都市化がどのくらい進んでいるかを教えてくれるはず。いっしょに、春の植物の豊かさを、林の中で見られる「黄色い花」にしばって調べ、写真を撮っていただきます。

夏に調べる「セミのぬげがら」からは、その林にすんでいるセミの種を知ることができます。種数が多いほど、その林がより豊かな林だとみることができるといでしょう。いっしょに、林で見られる大型の「夏の虫」の仲間を探し、写真を撮っていただきます。見つかった虫たちの食べ物やくらしについて知り、その顔ぶれから林の特徴を探ります。

春から夏には、よく草木が茂ります。林がいちばんにぎやかな季節に、地面のようすや、林の利用の仕方、林の構成など、林のようすも記録していただきます。



持ち物

春の調査

- てびき・調査票一式
- 記録用紙
- 筆記用具
- ビニール袋または、チャック付きビニール袋（採集したタンポポの花と果実かしつを入れます）
- カメラ
（コンパクトカメラやレンズ付きフィルムでも十分撮影できます。調べていたものが暗い場所にあるときには、ストロボ付きのカメラを使うと写真がはっきり撮影できます）

夏の調査

- てびき・調査票一式
- 記録用紙
- 筆記用具
- フィルムケース（採集したセミのぬげがらを入れます）
- プラスチックケース（動きまわる虫を写真に撮るときに便利です）
- カメラ

また、その林から少し離れたところから、林のようすを写真（林の写真）に撮りましょう。公園は別にして、林には持ち主の方や管理されている方がいます。林の中に入る場合には許可をもらうようにしましょう。

何回か同じ林に出かけよう

調べる林が決まったら、その林に名前をつけてください。その林に「公園」「の森」など、決まった名前があればその名前を、決まった名前がない場合には、自分でニックネームをつけましょう。名前をつけた同じ林で、春夏調査を行っていただきます。林の詳しい記録をとるには、同じ林で調査していただくことがとても大切です。いろいろな林で調査しないよう十分に注意してください。また、林のようすを知るためには、何回か足を運んでください。前は、見つからなかった動植物がもしかすると見つかることがあるかもしれません。

なお、「秋冬調査」から参加しているみなさんは、必ず秋冬調査と同じ林の名前を調査票にご記入ください。

記録のしかた

まず、調べる林が決まったら、林や林のまわりを歩いてみましょう。そのときに見つかった動植物や林のようすについて記録をとります。

